

大竹市公立保育所等再編基本方針(素案)説明会結果概要

○説明会結果

日	7月11日(水)	7月13日(金)	7月17日(火)	7月19日(木)	7月21日(土)	7月24日(火)	計
時 間	19:00～20:00	19:00～20:00	19:00～20:00	19:00～20:00	14:00～15:00	11:00～12:00	
場 所	大竹会館	総合市民会館	栄公民館	玖波公民館	大竹市役所	どんぶりHOUSE	
参加者	6	10	10	18	6	15	65
アンケート	2	10	9	9	6	9	45
回収率	33.3%	100.0%	90.0%	50.0%	100.0%	60.0%	69.2%

○アンケート結果

問1: アンケートにお答えになっているのはどなたですか。

問2: 居住地を教えてください。

また、お子様が通所(園)されている場合は、その保育所・幼稚園もお選びください。

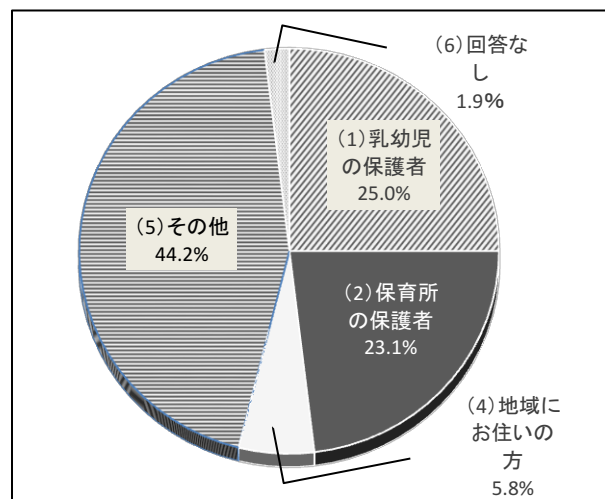
	回答数	割合	備考(居住地・通所(園)先等)
(1)乳幼児の保護者	13	25.0%	大竹地区:6 小方地区:5 玖波地区:2
(2)保育所の保護者	12	23.1%	大竹地区:6 小方地区:4 玖波地区:2 大竹保育所:2 本町保育所:1 立戸保育所:2 なかはま保育所:4 知恩保育園:2 さかえ保育所:1 中央幼稚園:1 ※重複回答:1
(3)幼稚園の保護者	0	0%	
(4)地域にお住まいの方	3	5.8%	大竹地区:2 小方地区:1
(5)その他	23	44.2%	保育士, 調理員, 臨時保育士
(6)回答なし	1	1.9%	
計	52	100.0%	※(1)・(2)重複回答:7

問3: 公立保育所等再編基本方針素案の説明についてのお考えをお答えください。

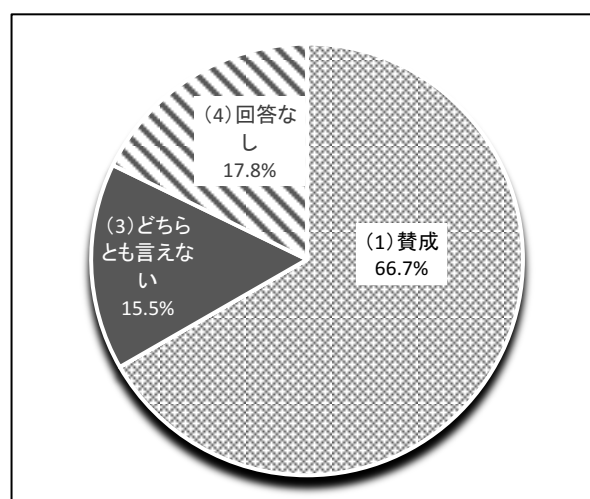
また、その理由についても聞かせください。

	回答数	割合
(1)賛成	30	66.7%
(2)反対	0	0
(3)どちらとも言えない	7	15.5%
(4)回答なし	8	17.8%
計	45	100.0%

問1: アンケートにお答えになっているのはどなたですか。



問3: 公立保育所等再編基本方針素案の説明についてのお考えをお答えください。



(1)賛成

【理由】

- 社会状況や大竹市の少子化事情も踏まえ、保育士の人数配置等も考慮すれば賛成です。
- 施設が古いので
- 駐車スペースが狭い。事故発生のリスクが大いにある。移転求む。
- 建物を建て替えてほしい
- 建物の老朽化・保育士の確保・幼稚園を選択できる
- 老朽化がすすんでいて保護者から不安な声を聴きます。建物が新しくなってバリアフリー化もすすむと、より子どもたちが過ごしやすくて良いなと思いました。今勤めている職員が全員そのまま認定こども園に勤められるのかが少し不安です。
- 施設が古く駐車場もないから。3歳未満児の保育が充実されるから。
- 将来の子ども達のことや保護者の方のことをとてもよく考えてくださっている再編計画だから。
- 建物の老朽化等の考慮、待機児童の解消の面
- 建物の老朽化、障害児保育に対応している施設
- 施設の老朽化の問題や待機児童の問題を減らせると思うからです。現在車の駐車の問題はあるので、解消できるなら保護者の方も負担が減らせると思う。
- 大賛成です。支援センター手狭でした。
- 建物が古く駐車場が大変困っているので、安全な場所に新設してほしい。
- 時代に合わせてより良い保育施設になりそうだから
- 建物の安全の為
- 建物が古い。機能的・ニーズ的に古い。
- 災害の時対応できない保育所ではだめだと思います。ニーズにこたえられるなら良い。
- 保育施設が改善されるから
- 今後職員の不足にも対応できるので良いと思う。
- 立戸の駐車スペースや支援センターや保育所をもっとよくしていただきたいです。
- なかはま保育所の駐車スペースがない、土砂災害時困る、早急に移転してほしい。
- 駐車場の問題は早く解決して頂きたいと思うからです。
- 車のことを考えると良いことだと思いますが、今が近くでどんぐりを利用している身としては、気軽に行けなくなるかなと思います。
- 認定こども園が大竹に一つでも出来れば選ぶ幅が広がると思います。
- 広くなって雨でも遊べる場所であればいいと思います。

(3)どちらとも言えない

【理由】

- キレイになるのは嬉しいけど、大規模になるのが心配。徒歩で行けなくなる。海のそばで心配。
- 新しくなるのは良いが、毎日持って行く持ち物などが変わるなら、また新しく買わないといけないなどムダにお金がかかるのは。
- 旧小方中にできるなら大きな地震があった時に津波など大丈夫なのか気になる。
- 園児が増えるのもあまり良いと思わない。今くらいがちょうどいいと思う。
- すぐには答えられません。時間が欲しいです。
- 地域の方々、保護者の関心が少ない。
- 災害があった時などはこの再編でいいと思いますが、やはり施設が減れば待機児童が増える気がします。
- なかはまの小規模が好きだったが、0・1・2歳が一緒に部屋は難しいと思ったので分かれるとうれしい。
- 新しく施設ができるのはいいが、小方にできると遠い。(大竹地区)

問4:公立保育所に今後こういった保育サービスを希望しますか。

- なかはま保育所と立戸保育所を統合し、小方中学校跡地でも結構ですが、今後予想される南海トラフ地震(大竹地区海拔3.4m)も視野に入れ、設計してほしい。
- 3未の充実・質の向上(若い人の指導)

- 放課後教室の様な習い事(外部や専門の方の招へい)
- 英語(他からの人をまねいて)
- 3歳未満児の充実
- 子育て経験のある相談しやすい保育士、先生を置いてください。
- 現在乳児は使用済みの紙オムツの持ち帰りについて賛否声がかかります。認定こども園になった場合、幼稚園免許がいるのか。
- 病児保育の充実、西医療に連れて行かなくても良い様にしていただけると働く保護者にとっては助かると思います。子育て支援施設の併設
- 年齢ごとのお部屋がある。
- 0歳児を受け入れている所が1つしかないのを受け入れる保育所を増やす。
- 小方中の跡地は安全なのですか。子どもたちの食の安全をお願いします。充実した給食の提供。保護者のニーズにこたえられるよう、そして子育てに悩んでいる保護者によりそえるように。保育所は老朽化しています。あと何年だからと見送るのではなく、修繕、改善をお願いします。
- 今のままで十分です。いつもありがとうございます。
- 今のままの人数がいい。先生がみんな変わってしまうのも心配。災害が起こった時に安心な場所がいい。(津波とか水害、土砂には強そうですが)
- 現状でよいのでは。保護者の希望は実際どうなんでしょうか？
- 土曜日の通常保育
- できれば休日保育をしてくれる所があればいいなと思います。
- 保育士さんを確保していただいて、子どもたちの目のとどくようにみてもらえると安心してあずけられます。
- 幼稚園と同様な教育を子どもに受けさせたい。病児保育の施設を併設してほしい。土曜日保育を15時から19時に延長してほしい。
- 土曜日通常保育(土曜日普通に仕事があります)。平日延長保育(19:00まで)希望します。
- 自然豊かな所で保育してほしい。遊具や環境を十分考え作ってほしい。アンパンマンなどのキャラクターは入れないでほしい。
- 今まで通り生活習慣(手洗い・トイレ・着替え)などを教えて頂ければと思います。
- 気軽に利用できる施設がほしい。晴海公園も暑すぎて遊ばせてあげられない。
- 暑い時とか雨の日は自転車は大変だと思うので、バスがあれば利用します。支援センターへ行くのも、くるりんバスの無料券がほしいです。
- 一時保育の人数を増やしてほしいです。

問5:子育て関連施設の整備及び施設の多機能化に今後こういったサービスを希望しますか。

- 我が子が未就学の間は、さかえ子育て支援センターや岩国子ども館などを多く利用させてもらいました。毎日さかえ子育て支援センターへ通うことで子ども同士が遊ぶ姿が身近で見られたり、ママ友ができたり、困ったことをすぐに職員の方に相談できたりして、育児ストレスなく過ごすことができました。施設整備も大切なこととは思いますが、利用したいと思う方がたくさん増え、子育てがしやすい環境がたくさん増えると嬉しいです。
- 岩国子ども館の様な建物があったら良い。
- 子どもの移動にほぼマイカーにマイチェアをつけているので、なんといっても駐車場があって、見通しの良いのが一番です。大賛成です。
- 災害時の為の多機能トイレや毛布。クーラー付の遊戯室
- どんぐりHOUSEが広くなるともっと利用しやすい。
- 人数に対して十分な遊具があると子どもたちが喜ぶかなと思う。土日にも利用できたら助かります。
- 定休日を平日1日・祝日休みといったサービスにしていきたいです。
- 旧小方体育館の今後も気になります。
- 衛生面や安全面
- プールなど体を動かせる施設がほしい。
- 土日でも利用できる施設があると助かる(岩国のこども館みたいな)。
- ランチルーム、授乳室は各施設に欲しいです。松ヶ原こども館の近くにコンビニがあったら良いなと何度か思っています。お弁当を持って行くのが大変なときにコンビニがあると助かります。また、コンビニが難しければ、お弁当を入れておく冷蔵庫や電子レンジを設置して頂けると有難いです。

○逆に広いと子ども戸惑うので、今のどんぐりみたいなのを増やしてほしいです。
○お昼ごはんを食べる場所があれば一日遊べるのでいいなと思います。
○室内にすべり台やブランコがあったら嬉しいです。敷地内にプールもほしいです。

問6: 本日の説明会をお聞きになったご意見をお聞かせください。

○給食室の直営はいつまでを考えているか。新規採用はないのか。
○若い世代がおられなかったことが残念です。
○具体的な方針をお聞きすることができて良かったです。
○冊子を読んだだけでは、分からなかった点がよく分かりました。ありがとうございました。
○分かりやすい冊子と説明で現状がよく分かった。今抱えている問題も改めて理解できた。
○再編計画が進むよう努力してほしい。
○大竹市の子どもが増え続けるか、減っていくか不明の中で再編を進めてくださる事に期待をしております。孫も連れて行きます。
○保護者の参加が少ないのは、実際、現在保育所に通っている子どもたちには関係のある子が少ないので仕方ないかと思います。一般の人たちへ向けての説明する場のPRが少なかった様に思います。新しい施設への年度途中への開設は難しいのではないかと思います。
○分かりやすく説明して頂いたので、検討しながら今後一緒に進めていって頂けたらと思います。
○なかはま・立戸に通っている0, 1歳児や入園してない子どもの保護者に、封書で送って意見を聞いてもらえるのも嬉しいと思います。
○ホームページは「何か調べよう」と思わないと見ないと思うのであまり良いツールとは思えません。まだ具体的に詳細が話されたわけではないので、詳細が決まり次第また説明会等があれば良いかなと思います。
○職員の働き方もこれからどうなるのかも知りたい。今後の計画だけでも知りたい所もあります。
○今後も公立の保育所を希望いたします。やはり一番の理由は市と直結している為、安心して預ける事ができるからです。又経験豊かな先生方々がおられるのもひとつの理由です。
○とても分かりやすい説明でした。
○保育士さん達の意見が聞きたいです。
○今日の説明会は保護者向けだったので、職員向けの説明会や意見会があっても良いのではないのでしょうか。
○新施設や統合などで他県から通園している者が断続不可にならないように願います。
○保育所に通っているお母さんの意見、フルタイムで働いている人、正社員、パート、短時間パート全く意見が違ふと思います。どこかで聞いてほしいです。
○これからの方針など理解できました。ありがとうございました。
○他の市町村は、医療費無料だったり、大型ショッピングセンターがあり子育て施設も多い、大竹市で子育てしやすいと思えず、他市町村へ流れることが多いと感じていた。今回の説明を聞き、早急の実現してもらいたいと思った。
○P6の3歳以上の教育する施設が、幼稚園1園しかないと書かれていましたが、保育所も3歳以上”教育”していると思いますが。保育所は教育していないのですか。
○各保育所に支援センターを併設するのが理想のようなお話があったと思いますが、例えば、なかはまと立戸を統合した場合に、そこに通園する予定のこどもたちが通園より先に新しい支援センターに通える期間を作って頂ければ良いなと思います。(子どもたちが新しい施設に慣れるために)
○広島県としてネウボラをしていて府中とか福山の施設がうらやましいと思ったので、魅力的な市にするためには応援しますが、実生活とを考えるとバスがほしいです。
○なかはまと立戸が一緒になって引っ越す理由もよくわかりました。

■ 説明会質疑応答(○: 質問・意見・要望 ⇒: 市回答)

○新施設において休日保育は行うのか。
⇒子ども・子育て支援事業計画の前計画の次世代育成支援行動計画において休日保育の実施を目標として掲げており、今後保護者のニーズの把握に努め、実施するかどうか検討する。

○説明会への保護者の参加が少ないように思うが、これからどう周知していくか具体的に考えているのか。

⇒説明会会場は、各保育所での実施を検討したが、駐車スペースの問題もあって、公共施設において説明会を行うこととなった。来週は、未就園児の保護者が集まる子育て支援センターに出向き説明会を行っていく。説明会の時間帯は保護者にとって忙しい時間帯であったと反省している反面、保護者にとってまだ身近な問題ではないのかもしれないとの思いはある。今後要望があれば、随時説明に伺う予定としているが、現時点では説明会に参加して頂けなかった保護者には、アンケートにより意見を募集し、素案に反映していきたい。

○認定こども園になることは決定なのか、それともこれから検討するのか。

⇒これから検討することとなる。国と県においても、教育・保育ニーズの多様化の面などから認定こども園化の積極的な整備を進めている。また、3歳以上の児童が保護者の就労等の状況の変化により保育所を退所しなくてもよいように認定こども園を考えている。具他的には「大竹市子ども・子育て会議」に諮り決定していくこととなる。

○新施設の場所は、小方中学校跡地に決定しているのか。

⇒小方中学校跡地を含め、小方地区にある市有地を建設候補地として、9月までに決定する予定としている。

○南海トラフの問題も考慮し、場所を検討してもらいたい。

⇒災害の面についても特に考慮し、場所を検討していきたい。

○子どもが3歳になると立戸保育所へ入所させたいと思っていたが、場所が遠くなるなら幼稚園も考えなければならない。場所はいつごろ決定するのか。

⇒今年の9月までに建設地を決定する予定である。

○駐車場は十分確保してもらえるのか。遠い所へ連れて通うことが不安である。通園バスは走らないのか。

⇒なかはま・立戸地区の方が入所することになるので、十分な駐車場を取りたいと考えている。通園バスもニーズがあれば検討していくが、まだいろいろな事が計画段階である。

○途中で保育士が変わることになれば不安である。

⇒児童が不安にならないよう急に保育士が変わることのないよう配慮していきたい。また、2つの保育所の職員の連携を一緒になる前から丁寧に行っていきたい。

○現在のアットホームなどんぐりHOUSEが好きだったので、規模が大きくなるのが不安である。なぜ、保育所と一緒に(併設)になるのか。

⇒新しい支援センターにおいても現在のような雰囲気大切にしていきたい。現在の支援センターは狭いだけでなく、相談スペースがないなどの課題がある。子育てに関しての相談スペースができ、保育所に支援センターが隣接されることにより、小さい時から保育所の子の姿や保育士の姿を見てきてるので、入所の時、親子ともに不安が減る。支援センターと保育所の連携もとれるなどのメリットがある。

○民営化とは何か。また、保育料は変わってくるのか。

⇒公立は市が、私立は民間法人等が運営を行う保育所である。民営化とは、公立保育所が、民間法人等が運営する保育所になることである。また、公立、私立も市の認可保育所であり、保育料は変わらない。

○こども園になると働いていなくても保育所に入所できるようになるのか。

⇒4月1日時点において3歳以上であれば、入所可能であるが、こども園となっても3歳未満児については制度上、保育に欠ける要件がないと入所はできない。

○子育て支援センターの利用は現在、市内の方に限定しているが、新しくできる支援センターは市外の方でも利用できるようにするのか。

⇒市外の方も利用できるように考えている。

○子育て支援センターは、日曜日でも利用できるようにするのか。

⇒日曜日の利用については今後検討していく。